

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	5	事業名	高津区地域連携スポーツ事業		
事業所管課	地域振興課		担当者	甲	連絡先	044-861-3145	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	スポーツや健康づくりに取り組む団体相互の連携を深め、地域におけるスポーツ振興で期待される、希薄となった地域コミュニティの活性化や世代間交流を図るとともに、地域におけるスポーツ参加機会の拡充を図る必要がある。
事業概要	市が支援する区内の総合型地域スポーツクラブを中心として、地域のスポーツ関係団体との連携を図ったイベントを協働で開催し、気軽にスポーツを体験できる場や地域住民間の交流機会を提供する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	736,000	予算額(調整後)	736,000	決算額	736,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	事業の実施にあたって、区内のスポーツ関係団体が連携したスポーツイベントを前年度からの継続性を考慮しながら行い、親子合計400組の参加を目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	年5回のスポーツイベントを実施する。 (1) たかつde森遊び 親子デイキャンプ体験(1回) (2) たかつde雪遊び 親子そり体験(3回) (3) たかつde笑顔 ファミリースポーツ縁日(1回)						
事業目標を達成する上での課題等	事業を計画するにあたり、地域のスポーツ関係団体との連絡調整や効果的な広報を行い、イベントの定着化を図る必要がある。						
実績	委託先：NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF (1) 10/4「たかつde森遊び 親子デイキャンプ体験」(親子14組参加) 高津区市民健康の森にて実施。 (2) 12/28,1/4,1/5「たかつde雪遊び 親子そり体験」(親子178名参加) スノーヴァ溝の口-R246にて実施。 (3) 12/5「たかつde笑顔 ファミリースポーツ縁日」(親子約500組参加) 久本小学校にて実施。						
協働の視点	事業実施にあたり、団体、行政の協議を十分行ったうえで、共通の目的意識及びお互いの役割分担を明確にしてイベントを実施した。民間及び地元の団体へのアプローチを進めることで、多様な団体による連携をスムーズに図ることができた。						
環境配慮への視点	区内の環境資源の利用として市民健康の森で「親子デイキャンプ体験」を実施した。						
取組の成果	地域のスポーツ関係団体が連携したスポーツイベントを年5回実施することで、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化に繋がった。「親子そり体験」は今年度で6回目、「ファミリースポーツ縁日」は3回目となり、親子で楽しむイベントとして定着しつつある。また、イベントを通じた団体の相互連携に広がりが見えてきている。						達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	川崎市スポーツ推進計画等に基づいた「コミュニティの中心となる地域スポーツクラブの育成・推進」を視野に入れたスポーツイベントを開催する。また、地域にある人的資源の発掘と活用を推進していく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	15	事業名	親子運動会開催事業		
事業所管課	地域振興課		担当者	西村	連絡先	044-861-3144	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	大型マンションの建設や都市化の進行に伴い、地縁意識が希薄になっている中、地域コミュニティ活性化に向けて、コミュニティ形成の場を提供することが求められている。
事業概要	10月下旬の日曜日に高津区内各町内会・自治会の老若男女を主な対象とし、高津地区と橘地区で運動会を実施するもの。参加者数は両地区合わせて例年5,000人で、リレーやむかで競争などの町会対抗競技の他、当日参加できる競技も多数用意されている。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,600,000	予算額(調整後)	1,600,000	決算額	1,600,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	実施にあたり、様々な団体の連携を通じて、地域交流の促進を図るためのイベント(親子運動会)を協働で行う。前年度に引き続き5,000人程度の参加者を確保し、地域交流の促進を図る。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	実行委員会形式をとり、委員会は高津地区連合町内会、橘地区連合自治会を中心に、青少年指導員会、スポーツ推進委員会など関係団体で構成する。年に数回、実行委員会を開催し、その他に団体ごとに会議を開催する。様々な団体との連携による円滑な事業実施を図る。						
事業目標を達成する上での課題等	様々な関係団体との連絡調整と協力体制の構築、及び多くの区民の参加を促すための周知方法の創意工夫など						
実績	【委託先】高津地区親子運動会実行委員会、橘地区親子運動会実行委員会 日時：平成27年10月18日(日)午前9時～(高津地区) 午前9時～(橘地区) 場所：高津中学校(高津地区) 橘中学校(橘地区) 参加人数：高津地区 4,000人 橘地区 3,000人						
協働の視点	事業の企画・運営・振り返りが両地区の連合町内会・自治会を中心とした地域団体の代表で組織される実行委員会によって行われた。						
環境配慮への視点	発行物や当日使用する資材等は環境に配慮されたものを使用した。						
取組の成果	当日は、多数の参加者があり、地域交流を促進した。 企画・準備・反省会を行う中で実行委員会構成団体間の交流もなされた。						達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	平成28年度は10月16日を予定し、内容については実行委員会にて地域の意見をもとに検討を行う。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	25	事業名	地域コミュニティ施策推進事業		
事業所管課	地域振興課		担当者	西村	連絡先	044-861-3144	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	地域コミュニティの核である町内会・自治会における、人材の育成や外部組織との連携などによる組織の活性化、および新規加入者増大のための取り組みが求められている。
事業概要	今日の地元意識の希薄化に起因する、町内会・自治会が抱える多くの課題の解決を図り、地域の核となる町内会・自治会活動を活性化することにより、地域コミュニティの形成を図っていくことを目的にイベントを実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	700,000	予算額(調整後)	700,000	決算額	600,480	不用額	99,520
不用の理由	契約差金						
事業目標	地域コミュニティの核である町内会・自治会は、役員の高齢化・後継者不足、加入率の低下や活動への参加者の伸び悩みなど、多くの課題を抱えており、これらの課題の解決や、新しい形態での活動の道を探り、町内会・自治会活動を支援することにより、地域コミュニティの活性化を促す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	学校法人日本女子大学に委託し、これまでの過去の事業成果物等を活用しながら、地域の古地名とその由来となる地形を通して災害について考えることで自分の住む地域を知るきっかけとなる、また参加型で楽しみながら幅広い世代の区民が町内会・自治会に興味関心を持つきっかけとなるようなイベントを企画・提案・実施し、報告書の作成を行う。						
事業目標を達成する上での課題等	加入率の低下や活動への参加者の伸び悩みなどの問題があるが、イベントや広報活動を行ってもその効果が計れない。						
実績	今年度は、これまでの過去の事業成果物等を活用しながら、地域の古地名やその由来となる地形を通して災害について考えることで自分の住む地域を知るきっかけとなる、また参加型で楽しみながら幅広い世代の区民が町内会・自治会に興味関心を持つきっかけとなるようなイベントコーナー(謎解きプラタカツ)を企画し、「たかつあん☆あんフェスタ」内で実施し、報告書の作成を行った。 日時：平成28年3月19日(土)午前11時～午後3時 場所：武蔵溝ノ口駅自由通路 参加人数：150組、約400人 【委託先】日本女子大学						
協働の視点	事業実施は日本女子大学に委託して行い、事業成果は地域のコミュニティを担う高津区全町内会連合会に還元され、今後の市民協働に資するものとなっている。						
環境配慮への視点	イベント当日のごみの持ち帰りを徹底した。						
取組の成果	イベントでは約400人の参加者が「謎解きプラタカツ」に参加し、未就学児から高齢者まで幅広い世代が自分の住む地域の古地名や地形などに触れ、「新たな発見があった」や「高津区に関心を持った」というアンケート回答が多かった。また昨年度の事業成果物を多くの人に手にとってもらい、PRすることができた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	町内会・自治会未加入世帯が多いと思われる、子育て世代を主なターゲットとした、イベントの実施や町内会・自治会の活動そのものを知り、理解してもらうような広報物の作成などを行う。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	35	事業名	橋ふるさと祭り子どもイベント開催事業		
事業所管課	橋出張所			担当者	宮川	連絡先	044-777-2355

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	本事業は、長い伝統と歴史に育まれて地域に定着している事業である。そのため、今後も継続して実施し、地域の子もたちが交流する場や作品発表の場を設けることにより、これまで同様、地域の和を深め地域の活性化とふるさと意識の醸成を図っていくものである。
事業概要	ふるさと祭り開催にあたり、地区内小学生によるポスターコンクールを実施。ふるさと祭りを地域全体で盛り上げていく事と広報の意味から、優秀作品からポスターを作製し、市バスや東急バス車内をはじめ区内公共施設に掲出する。また、ふるさと祭り当日は、地域の子もたちが様々な催し物を通してふれあう場を設定し、橋地区の魅力や地域特性を知ることができると内容のイベントを実施する。 なお、橋ふるさと祭りは、橋地区連合自治会をはじめ地域の諸団体で構成された実行委員会により企画・運営している。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,320,000	予算額(調整後)	1,320,000	決算額	1,320,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	子どもを中心とした地域交流の活性化と橋地区の魅力と地域特性を知る機会の提供						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	事前のポスターコンクールの実施と応募作品を活用した橋ふるさと祭りの広報。移動動物園やゲームコーナー、工作など子ども向けイベントの企画・運営。幼児、小学生を対象とした輪投げや各種工作遊びを行う子ども広場の運営に、地元中高生のボランティア参加を検討。						
事業目標を達成する上での課題等	実行委員会との密な連絡調整。費用対効果を十分に考慮した企画・運営。						
実績	委託先：橋ふるさと祭り実行委員会 日時：平成27年8月9日(日)午前9時30分～午後5時30分 場所：川崎市民プラザ 天気：曇り時々晴れ 橋ふるさと祭り来場者数：約7,500名、うち、子ども来場者数：約3,000名 ポスターコンクール：橋地区5小学校(末長、新作、橋、子母口、久末)を通して募集。81作品の応募があり、橋ふるさと祭り実行委員会(橋地区連合自治会他10団体で構成)により、6月18日に審査・選考会実施。プログラム5,300部、ポスター650枚作製。市バス、東急バス、町会、広告出展団体、協賛団体に配布及び掲示を依頼した。 子ども広場の運営：10名の中高生ボランティアの参加があった。						
協働の視点	橋ふるさと祭り実行委員会は、橋地区連合自治会をはじめとする地域の諸団体で構成されている。実行委員会と行政が互いの役割分担を協働の原則に基づき行い、イベントを効果的に実施するため委員が中心となって積極的・自発的に活動した。						
環境配慮への視点	実行委員会から各町内会・自治会を通して、来場者にごみの持ち帰りの徹底を図るように要請した。同時に子どもを中心にごみの分別・減量等、環境意識の高揚を図った。						
取組の成果	若者の視点を生かし、子ども広場の運営を円滑に進行することができ、地元中高生の社会参加の意識とボランティア意識の醸成が図れた。 多くの住民の来場があり、子どもたちを中心とした地域の交流の場として、有意義なイベントとなった。また、ポスターコンクールの応募が81名と多数あり、このイベントの地域への浸透が進み、子どもたちに橋地区の魅力と地域特性を知ってもらう良い契機となった。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	住民ニーズに適応した事業展開を目指すとともに、更に効率的・効果的な運営も視点に入れ継続して実施していく。橋地区の特色をより活かせる事業を行う事で、「地域の活性化」、「ふるさと意識の醸成」を進める。また、運営補助として地元中高生に参加してもらうなど、より子どもの参加を促す事業内容について、実行委員会と検討・調整していく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	95	事業名	区民祭開催経費		
事業所管課	総務課			担当者	田島	連絡先	044-861-3121

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	市民・企業・行政が一体となり高津区民祭を開催・充実させることで地域活性化を図る
事業概要	高津区民祭実行委員会に対する補助金

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	287,000	予算額(調整後)	287,000	決算額	287,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	充実した区民祭の開催のため、行政として援助を行う						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	区民祭の広報充実を目的に、補助金を支出し、川崎市の後援名義の使用を承諾する。						
事業目標を達成する上での課題等	より一層、区民による自主的な開催を促していくことが必要。						
実績	7月26日(日)区民祭が開催され、例年同様、7万人規模の動員があり、盛況に終了した。						
協働の視点	区民祭そのものは区民の自主運営事業だが、行政が行いうる可能な方法で、充実した区民祭開催を援助した。						
環境配慮への視点	区民祭そのものは区民の自主運営事業だが、後援、補助金支出を行っている立場から、区民祭開催にあたり、環境配慮を行うよう要請した。						
取組の成果	実績のとおり充実した区民祭開催が実現し、かつ、区民祭そのものについては、区民による自主運営を維持することができた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	区民祭そのものの在り方は年々見直しが進むと見込まれるが、行政として、充実した区民祭の開催を実現するために援助を行う必要性は変わらないため、現状どおり継続方針とする。